

<ひとこと> 育児休業からなんとか復帰しました。我が家でも柏市の待機児童問題は切実です。今後も、時々親バカトークにお付き合い下さい(中野)

## 第4回 柏市地域移行支援協議会

今回は、千葉県から健康福祉部障害福祉課、精神保健福祉推進室の方が来られて、来年度からの当該事業の体制や給付について説明がありました。

\* \* \* \* \*

今年度までは支援者が推薦したり患者さんが申し出たりどちらでも事業対象でしたが、来年度からは基本患者さんからの申し出がないと移行支援が始まらない仕組みになるとのことでした。患者さんへの周知をどうしていくのか、退院するのだから「治ったのだ」という患者さんの感情と、退院してすぐに福祉が支援するという、ともすると患者

さんの感情と裏腹になってしまいう制度の仕組みの問題、等の意見が出され、これからの当該協議会の課題ということになりました。

\* \* \* \* \*

また、この精神障害者地域移行についての問題は「患者さんの動機付け」「医療機関と福祉の連携」「地域の受け入れ体制」の3つだと言われています。しかし、この部分は地域での自助努力に負うところが大きく、できれば制度(仕組み)でもカバーして欲しいところだと思えます。特に「患者さんの動機付け」などは制度が全くなく、給付もありません。しかし、支援者の方々が一番苦労し時間もかかるところです。今後の改善を望みます。

## 第4回 ビックハート地域意見交換会

ビックハートさんが地域の各施設や学校と連携を深めていくために、ビックハートさんとして、①生活支援の助言については相談機関との橋渡しに主役になるが、今後はもっと自前で解決できることを増やしていけるようにしていく、また橋渡しでは相談機関と定期的な面談を実施する等、連携を強化していく。

④ビックハートさんもアセスメントを初期だけではなく定期的に行っていく、等種々の方策が示されました。

\* \* \* \* \*

また、厚労省の「就労移行支援事業の充実強化に向けた先駆的事例研究」事業についてのセミナーに参加され、その内容が簡単に紹介されました。就職できていない事業所が二極化傾向にあり、その原因が何であるか、今後就職できたことに対する加算を付けていって、といった内容です。障害者基本法の改正後、少しずつその方向に向かっていくことを感じることができました。

## 育ちもよく働く仕事

「おかげさまであいネットは2012年度も柏市地域生活支援センター事業の委託を受けることになりました。今後もよろしくお願いいたします。」

以下、職員の1年の振り返りです。

☆今年度は7月から国のPSS事業を受けることになり、内容等は変わらないのですが、気持ちは新たにできたらいいなと。初心忘れず!(永)



☆前年もご相談者様や事業所、市の方々に教えていただき発見と自省の日々。一人ひとりの幸せを想像することの難しさ。(吉)



☆昨年度は皆様に大変お世話になりました。ご相談者様と揺れながら(時にゆらゆらと)、一緒に考えていけたらと思っています。(白)



☆前年度は子育てに専念させていただき、心と体の幅がググツと広がりました。支援も子育ても、気負わずコツコツ頑張ります。(中)



☆前年度は、皆様に大変お世話になりました。今年もご指導・ご鞭撻よろしくお願ひします。継続は力なり! (ほどほどに)。(川)



☆2011年の困りごとをまだ抱えたままですか。どこに相談したら良いかわからない。何から解決していいかわからない。そんな方々がいましたらお手伝い致します。(佐・事務)



## 『スペース結』誕生！ ～商店街の空き店舗を使った、新たな居場所づくり～



大津ヶ丘団地の商店街の空き店舗を使って「スペース結」が誕生しました。松葉町でも古民家を借りて開いており、その第2弾です。松葉町ではさまざまな講座が開かれており、大津ヶ丘でもギャラリーBOXでの趣味の作品の販売や、その人の趣味を生かした講座の開設などが予定されているようです。



それらの趣向の目的は「居場所づくり」周辺の方々が立ち寄りてみたい居心地のよい場所。また、この「スペース結」が発信地にもなり、地域のちょっとした困りごとなどを持ち寄ることとで解決を考えていける、そんな場所になれるとよいと考えられているようです。絆・つながりなどを同じようにイメージする「結」という名称にそんな思いを込めたいと伝わり、まだお目見えしたばかりですが、商店街の活気につながるとよいと思えました。



# 柏市立 朋生園

新柏駅から徒歩5分の場所に柏市立朋生園があります。朋生園は、18歳以上の知的障害のある方が日々通所し、仕事を通して、社会的自立を目指す施設です。施設長の岩田さんにお話を聞きました。

かしわ  
柏うお～か～

あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

## ○どんな方が対象ですか？

療育手帳をお持ちの方、自立支援法における生活介護、もしくは就労継続支援 B 型の対象となる方が通う場所です。

## ○年齢層と男女比は？

30代から40代の方が多いです。男女比は、6:4くらいです。一番ご年配の方は60代前半、最年少の方は20代の方もいらっしゃいます。

## ○活動内容を教えてください

生活介護事業では、利用者に馴染みやすいように、ホール班と呼び、個々のペースに合わせて活動に取り組んでいます。

※ホール班・・・ホール班専用畑で作物を育てて収穫したり、ビーズ製品の製作や紙漉作業をしています。また、音楽活動や美術活動も楽しんでいます。

就労継続支援 B 型事業では、利用者の個性を尊重し、園芸班と室内班に分かれて作業に取り組んでいます。

※園芸班・・・土作りをはじめ、四季の花を種から栽培し、近隣センター等での販売や花壇への植え込みを行います。

※室内班・・・さをり織り、刺し子、ミシンによる縫製品作りや紙漉製品(葉書、しおり等)作り、受注作業に取り組んでいます。

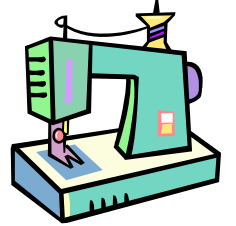
その他、全体の活動として、クラブ活動・利用者会議・旅行・朋生園祭等も行っています。

## ○送迎はありますか？

生活介護の利用者には希望により、送迎サービスを実施しております。

## ○最後に一言お願いします。

この場合は、皆さん和気あいあいと、笑顔が絶えない場所です。毎年開催している朋生祭では近所の中学校と交流もあり、吹奏楽部も来ます。ぜひ皆さんいらして下さい。



今回の取材では室内班、園芸班、両方を見学させていただきました。室内班では、縫製品作業の手際の良さに感心させられ、園芸班では、温室を見学させていただき、たくさんの植物と笑顔の絶えない利用者の方達に癒されました。今回の取材では、心がほっこりいたしました。取材に協力していただきました朋生園の皆様、ありがとうございました。

## お知らせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
原発被害救済千葉県弁護士による ～原発被害相談説明会～  ※福島原発事故に伴い柏市並びに近隣市に避難されてきた方	平成 24 4/21 (土) 13:00～16:50	柏市役所本庁舎 5 階 第 5、第 6 委員会室	無料	必要 先着 70 名	申し込み/お問い合わせ <b>疎開支援の会</b> TEL : 080-3519-4651 (藤原)  共催 : 原発被害救済千葉県弁護士 団 / 柏市
高次脳機能障害者の社会参加支援事業～地域に広めるために～  <b>【内容】</b> ◇高次脳機能障害者の社会参加支援事業“ボランティアはじめの一步事業”について  ◇活動事例紹介  ◇高次脳機能障害者のボランティア活動システムについて	平成 24 5/12 (土) 13:00～15:00	生活クラブ風の村 サポートハウス光ヶ丘 式番館 コミュニティスペース  柏市東中新宿 4-5-12	無料	必要	申し込み/お問い合わせ <b>NPO 法人 VAIC コミュニティケア研究所</b>  〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7  TEL:043-290-8015  主催:VAIC コミュニティケア研究所 千葉リハビリテーションセンター  協力:千葉県